

日本食糧新聞

日本食糧新聞社
 東京都中央区八重洲1-9-9
 東京建物ビル(〒103-0028)
 www.nissyoku.co.jp
 編集・広告 ☎03(3432)3103
 購読 ☎03(3432)2927
 東京都港区西新橋2-21-2
 第一南桜ビル(〒105-0003)
 【支社局】北海道 ☎011(866)0721/
 東北 ☎022(225)2721/新潟 ☎025(228)
 ☎03(3432)5700/長野 ☎026(228)
 5520/静岡 ☎054(289)5802/中部
 ☎052(571)7318/関西 ☎06(6314)
 4181/中国 ☎082(223)2535/九州
 ☎092(291)1790
 購読料 半年30,882円
 (税別・前金)
 ©日本食糧新聞社2015年

ISO 22000 認証取得

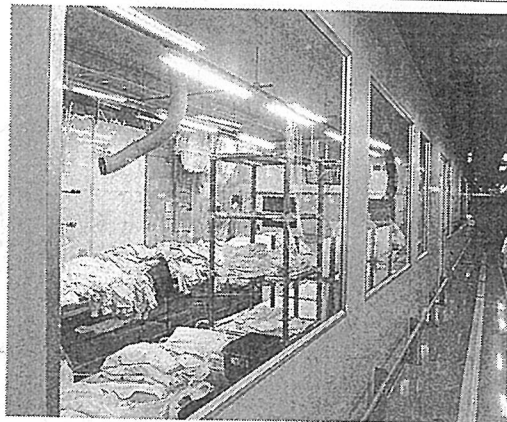
新日本
ウエックス
6工場と関係部署で

ユニホームレンタルとリネンサービスの新日本ウエックスは、食品工場専用ラインのある直営クリーニング工場6工場と関係部署で、食品安全マネジメントシステム「ISO 22000」の認証取得を3月5日付で完了し、この

ほど明らかにした。審査登録機関は日本化学キユーエイ(JCQA)。同社では、12年3月に松戸工場で初めてISO 22000の認証を取得したのを機に、食品工場専用ラインの新設と同規格の水平展開を進めてきたが、これによってユニ

ザーは地域差なく、同等の食品安全管理レベルでユニホームレンタルサービスを受けられるようになる。

認証を取得したのは、本社(名古屋市中区)、木場工場、野田事業所(千葉県野田市)、大阪第2工場(大阪市・清和ウエックス)、



大阪第2工場(大阪市・清和ウエックス)の食品工場専用ライン

岡山工場(岡山県玉野市・山陽ウエックス)、松戸工場(千葉県松戸市・千葉ウエックス)、浜松工場(静岡県浜松市)と、本社に設けられている生産技術部、品質技術室ほか、また各クリーニング工場に設けられている営業やサービス、保全、業務などの各関係部署。

「ISO 22000の水平展開には、安全・安心の観点から、どこでも同じ品質、同じ

サービスを提供したい」という強い思いが込められている。関係する全スタッフは、提供するユニホームにより責任を持てるよう、システムの運用を通じて管理レベルの向上を図っていく(廣瀬純平社長)。

同社では、食品工場と同等の衛生管理を実現するため、他のラインとは完全に隔離した食品工場専用ラインの新設を12年から順次、

進めていた。

松戸工場を除く5工場と関係部署については、更新審査時の認証範囲拡大というかたちで認証取得を目指した。14年6月のキックオフ後は、関東と中部、関西の3エリアに分

け、計22人で食品安全チームを結成。各クリーニング工場に対してシステムを確実に落とし込むため、118項目にわたるチェックシートを作成し、要求事項を満たせるまで、自己採点とISO担当者による評価、また改善を繰り返した。

廣瀬社長は「今後はクリーニング工場や配送の衛生管理だけでなく、異物混入対策や菌コントロールを踏まえたユニホームの提案、オリジナル製品の開発、またユニホームを個人管理するためのRFIDタグを入退室管理に生かす取り組みなど、サービスにおいて、多角的に食品安全のニーズに添えていきたい」と話している。